

## 10.まとめ

ベトナムのハノイとホーチミンを訪れて共通して最初に思ったことは、バイクがとにかく多いということである。昼間でも信号無視をする人がいて、夜になると無視が当たり前のようにどんどん、行列が道の前方を通過する。なので、最初に異常なその光景をみたハノイでは、なかなか道を横断できなかった。しかし、左右をしっかりと見ながらゆっくり注意しながら渡ると意外に渡れてしまう。初めは堂々と闘争心をもったかのようにハノイでは渡っていたが、慣れというのは恐いもので、ホーチミンに着いた時には、平気で渡れてしまうものである。

2つの都市で違うことという、それは雰囲気である。ハノイは悪く言えばすさんだ感じがするが、住んでいる人々には力強さを感じた。一方ホーチミンでは経済の町だけあり賑やかさと・華やかさがある。双方にベトナムの匂いはするものの、日本で都道府県が違うように狭義での歴史の違いを感じとれた。

建築物は報告書でも述べたとおり、歴史的建物は中国とフランスの要素をとり入れ尚且つベトナムとしての建物の構成をとっていたように思う。地震がないので、町中の部材は細く矩形の細長い建物が多くひしめきあっている。しかし、中には近代的なガラスと鉄骨をつかった建物がほんの少しではあるが確認できた。

今回、世界遺産でもあるハロン湾にも足を運んだが、その景色の大きさは、言葉を失い見つめてしまう雄大な自然のパノラマであった。この岩壁のようなベトナムの今後の大きな発展を期待したい。

